

元気UP通信

厚木市立荻野中学校
心の教室
平成30年1月

日本橋J R高架は凱旋門
駅伝選手の輝くフィニッシュ

吉岡

1月の開室日

○：開室日 SC：市川さん

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 ○	11 SC	12 ○	13	14
15 ○	16	17 ○	18 SC	19 ○	20	21
22	23	24	25 SC	26	27	28
29 ○	30	31 ○				

地元の子が箱根駅伝のアンカーに

毎年、正月はテレビで箱根駅伝を見ていますが、今年は、久しぶりに興奮しながら観戦しました。元日の午後、何気なくSNSの投稿を見ていたら、私の住んでいる地元半原のレッドデビルズというスポーツ団体の投稿に、デビルズの卒業生が箱根駅伝のアンカーとして走るとありました。「それは凄い、応援しなければ」と俄然本気になって家中でテレビ観戦することにしました。その選手は拓殖大学4年生の苅田広野さんです。チームの成績の往路は4位でしたが、復路は8位に順位を落としました。しかしシード権が掛かっています。負けるわけにはいかないと苅田さんは最後のたすきを受け取り、ゴールに向かって懸命に走り続けました。テレビの画面を見るとブロンズのドラゴンの彫刻のある日本橋を渡るときはまるで凱旋門をくぐるかのように見えます。そしていよいよゴールのある大手町に入り、J Rの高架をくぐり抜けて一步一步と近づいてくる正面からの映像は、スタジアムのゲートをくぐっているかのようです。フィニッシュは両手を広げて力強いガッツポーズでした。

苅田さんは小学生のデビルズの頃に「箱根駅伝を走る」と宣言して以来ずっ